

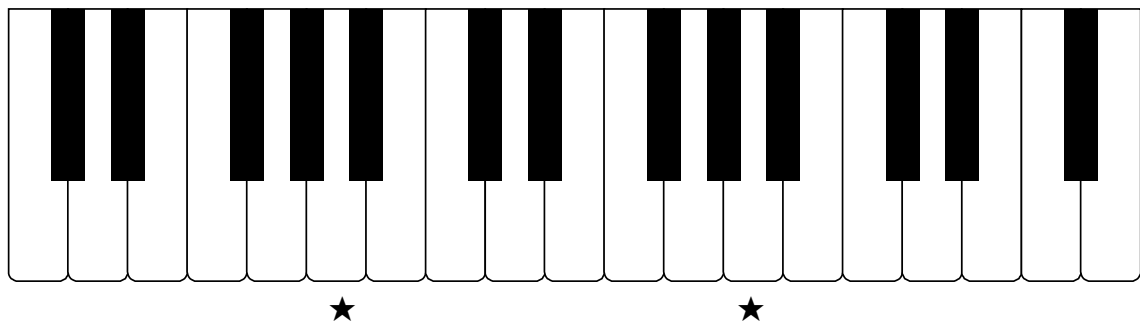
〈課題 2〉 音楽に関する課題(必修)

■テーマ「音の名前を覚えよう」

音楽で使う「音の名前」ってわかりますか？

「ド・レ・ミ…」なら知ってる、っていう人は多いでしょうね。

それも確かに音に名前を付けたものですが、「ド・レ・ミ…」は「階名」といって、長調や短調などの、音楽をするときに使う音の階段を上がっていくときの 1 つ 1 つのステップに名前を付けて読んでいるものです。だから、下のようにピアノの鍵盤の音の名前というと、別に名前を付ける必要があるのです。

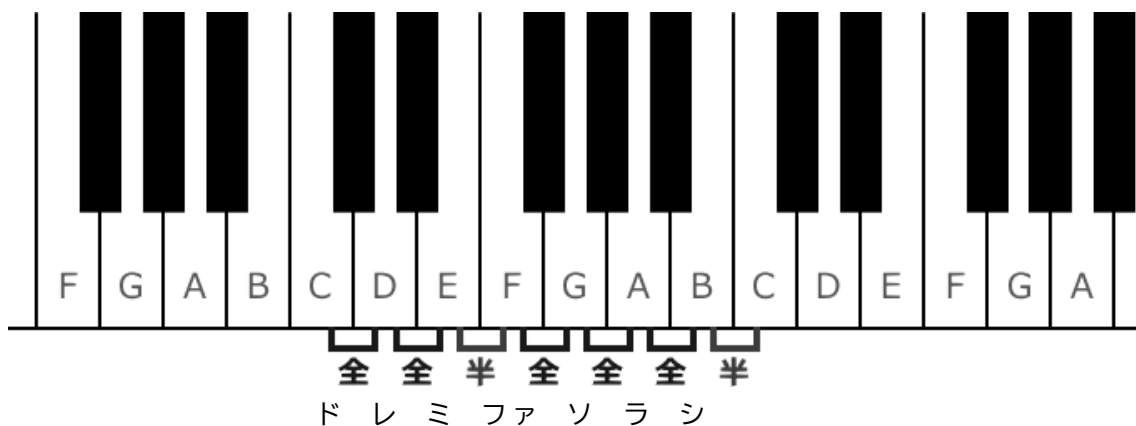


ピアノの鍵盤は、白い鍵盤で 7 つごとの繰り返しになっているのはわかりますね。その 7 つの音に名前がついているのですが、それは国ごとに違っているのです。

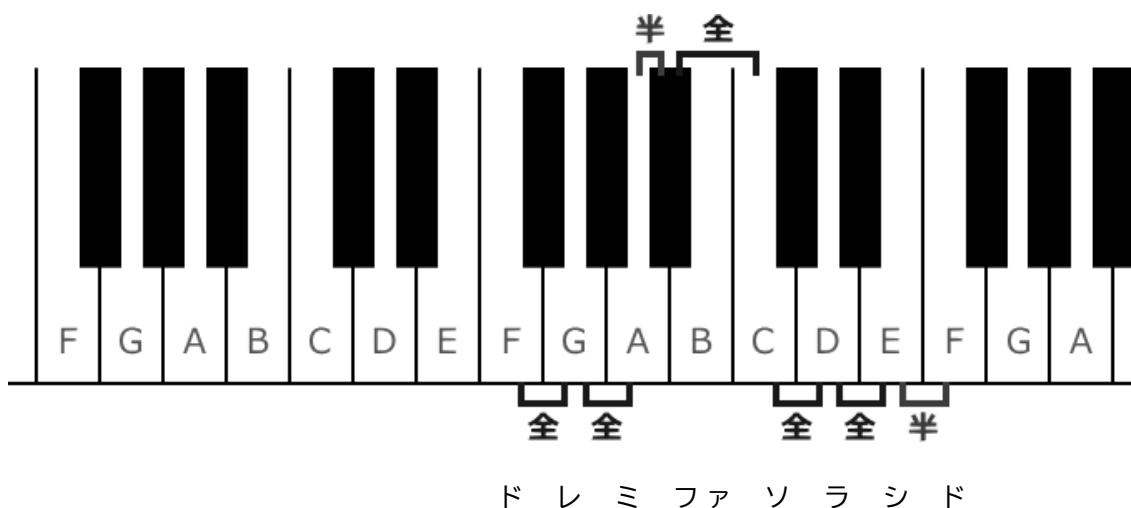
これから子ども発達学科で勉強してもらう皆さんには、英語の音の名前(これからは「音名」といいます)を使うのが一番便利だと思うので、それを覚えてもらいましょう。

英語の音名は、アルファベットの最初の 7 文字、すなわち ABCDEFG を当てはめて使います。

上の鍵盤図の★のところから A になり、そこから右に向かって ABCDEFG が繰り返されていきます。



ピアノ等の鍵盤は、白黒に関係なく隣同士は等間隔になっていて、1つが「半音」2つで「全音」と呼んでいます。白鍵同士を見ていくと、間に黒鍵のないところが半音ということになります。「ドレミファソラシド」の長音階は、ミとファのあいだとシとドのあいだは半音になっています。上図のように、白い鍵盤だけで弾ける長音階は、C の音が「ド」になっているので、C Major(シー・メイジャー)あるいは「ハ長調」と呼んでいます。



黒鍵を使って半音の場所を変えれば、どこからでも長音階を始められます。上の図は F Major (ハ長調)の例です。「音名」と「階名」の違いは分かりましたか？半音上げた音には sharp(＃シャープ)半音下げた音には flat(♭フラット)がつくことは皆さんご存知のことと思います。A と B のあいだの黒鍵は、ここでは A＃ではなく B♭です。どうしてだかわかりますね。

ハ長調やヘ長調というときの、「ハ」や「ヘ」も実は音名なのです。日本語の音名は「ABC…」を「イロハ…」に置き換えたものです。小中学校の教科書では、この日本語の音名が使われています。

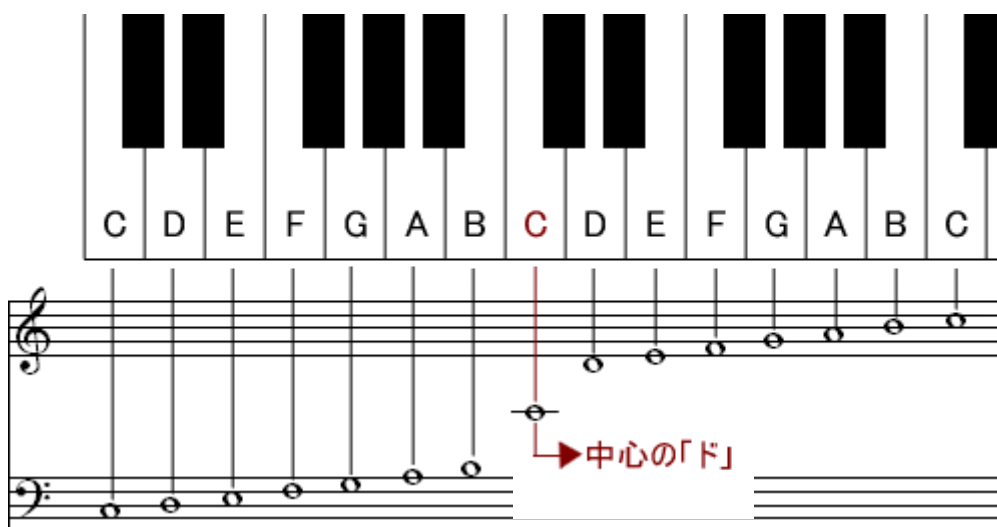
下の表が、各国の音名の対照表です。

英語	A	B	C	D	E	F	G
日本語	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
ドイツ語	A	H	C	D	E	F	G
イタリア語	Do	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si
フランス語	Ut	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si

この表を見て気づくように、イタリア語やフランス語には「音名」と「階名」の区別がありません。不便なので、ドイツ音名(クラシック系)や英語音名(ポップス系)を使う人も少なくありません。

保育の現場では、英語のコードネームのついた歌の楽譜を使う機会が少なくないので(練習問題の「きらきら星」の楽譜についています)、みなさんには、英語で音名を覚えてもらいたいです。

最後に、ピアノの鍵盤と五線譜と音名の関係を示しておきます。ほかの鍵盤楽器は必ずしもそうなってはいませんが、ピアノは、一番左の音が、ちゃんと A の音から始まっているので是非一度、実際に見て確認してください。



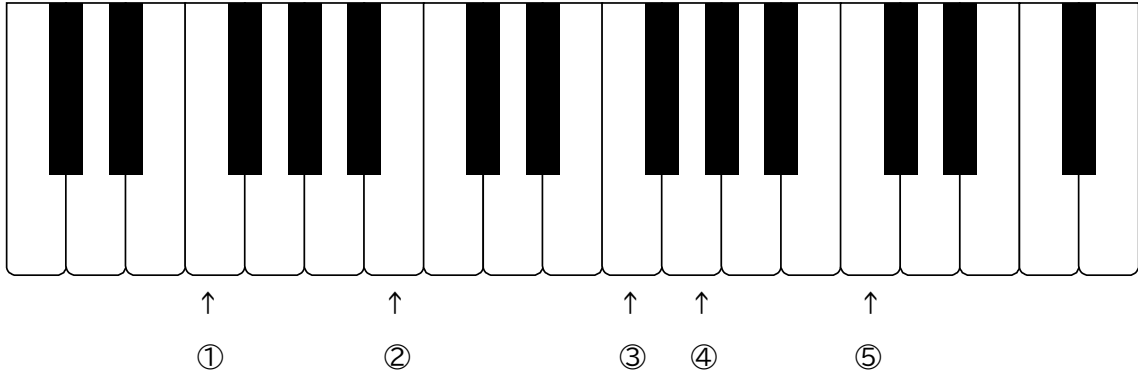
ト音記号の「ト」は G の音のこと、英語では G clef、ヘ音記号も同様に「ヘ」が F の音のこと、それぞれの記号の書き出しの線の音名を表しているのです。よく見るとそれぞれの記号の中に、G の文字 F の文字が見えてきませんか。

以上、英語音名のことわかりましたか。何度か読み返して、よく理解できたら、次の練習問題に挑戦してみてください。

■練習問題

氏名()

1 鍵盤上の各音の英語音名を書きましょう。



2 次の楽譜の矢印のついた音の英語音名を書きましょう。

きらきら星

作詞 武鹿 悦子
フランス民謡

♩=80

↑ ↑ ↑ ↑ ↑

① ② ③ ④ ⑤

1	①	②	③	④	⑤
2	①	②	③	④	⑤